

## ◆◇◆ CONTENTS ◆◇◆

1. 令和4年度推進協事業について ..... 1
  - ・令和4年度事業実施状況
  - ・令和4年度実践発表会 会長賞等決定！
  - ・地域公益活動の状況等調査から
2. 令和5年度事業計画がまとまりました ..... 4
3. 推進協HPについて ..... 6

ご案内のとおり、令和4年度より、東京都地域公益活動推進協議会（以下「推進協」という。）は、原則として東社協会員施設・事業所を運営するすべての社会福祉法人が加入する組織となりました。

この3年間の新型コロナウイルス感染症による社会全体への影響は大きく、困窮や孤立の問題はより深刻化しています。‘オール東京’の社会福祉法人が、東京都域、そしてそれぞれの区市町村域でネットワークを組み、コロナ禍にある福祉課題・地域生活課題を受け止め、住民の福祉の向上を目指して、誰一人とりこぼさない「東京らしい地域共生社会づくり」に向けて、さらなる一歩を踏み出しました。今号では、4年度の推進協事業の状況と5年度の事業計画をお知らせします。

## 1. 令和4年度推進協事業について

### ➤令和4年度推進協事業実施状況

オール東京による新3か年計画（令和4～6年度）の初年度である本年度は、下記の4つを重点として取組を進めてきました。

- ① 全加入組織（オール東京）の周知・PR
- ② 法人・区市町村ネットワーク・東京域の取組の広報・PR（実践発表会、地域公益活動状況把握調査、広報研修会、マスコットキャラクター募集等）
- ③ 区市町村ネットワークによる地域公益活動の推進（助成、アンケート、代表者連絡会等）
- ④ 新たな地域公益活動の開発と推進（はたらくサポートとうきょう推進、テーマ別研修会等）

推進協のブランディングの一環として実施したマスコットキャラクター（10月5日～12月20日募集）には、利用者や職員のほか児童生徒等から146点の応募があり、情報発信委員会での検討、幹事会での選定を経て、まもなく決定予定です。

今号では、主に実践発表会の審査結果、地域公益活動状況把握調査についてご報告いたします。

# 令和4年度東京都地域公益活動推進協議会 事業執行状況

情報発信委員会 (5/11, 6/15, 8/29, 11/30, 1/17)	地域ネットワーク推進委員会 (7/6, 8/30, 11/29)	事業開発委員会 (6/30, 9/12, 12/6, 2/17)
<b>【実践発表会 (Web配信)】</b> 発表内容: 社会福祉法人7か所、区市町村ネットワーク2か所による発表。 配信期間: 10月26日～12月16日 コーディネーター: 小林良二氏(都立大学名誉教授)	<b>【ネットワーク助成】</b> 事務費5万円、事業費30万円上限 <b>【事務費】</b> 27地区(千代田区、中央区、新宿区、文京区、大田区、中野区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、立川市、調布市、町田市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、多摩市、稲城市、西東京市、瑞穂町)二次(港区、杉並区) <b>【事業費】</b> 22地区(中央区、文京区、中野区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、立川市、昭島市、町田市、日野市、東村山市、国分寺市、狛江市、東大和市、清瀬市、西東京市、瑞穂町)二次(港区、杉並区)	<b>【はたらくサポートとうきょう】</b> 登録事業所: 95事業所 受入可能: 77事業所 受入実績(有) (~R3): 36事業所 受入実数(R3): 12名 <b>《実践報告会(オンライン)》</b> 日時: 12月16日(金)午後 内容: はたらくサポート概要説明、実践事例報告(受入事業所、自立相談支援機関) コーディネーター: 中島修氏(文京学院大学教授) <b>《登録事業所に関するデータ提供》</b> 時期: 奇数月の10日前後 送信先: 90カ所(生活困窮者自立支援相談機関と福祉事務所※H30より拡大)
<b>【推進協マスコットキャラクター募集】</b> 応募期間: 10月5日(水)～12月20日(火) 応募数: 146点 全加入後の「ブラッシング」の一環として実施。	<b>【区市町村ネットワークとの関係強化】</b> 区市町村ネットワーク代表者から委員を選出し、幹事会・委員会に参画。	<b>【テーマ別研修会(オンライン)】</b> 日時: 令和5年2月15日(水) 内容: 「福祉教育」「女性支援」をテーマとする事例報告等 コーディネーター: 中島修氏(文京学院大学教授)
<b>【状況把握調査】</b> 対象: 会員施設・事業所 時期: 12月9日～1月10日 内容: 地域公益活動取組み概況、事例	<b>【ネットワーク代表者連絡会(オンライン)】</b> 日時: 令和5年2月1日(水) 対象: 区市町村NW代表者、区市町村NW事務局 内容: コロナ禍のネットワークの取組み事例、三者連携の事例 他	<b>【重層的支援体制整備事業等連携】</b> 委員会にて動向把握・共有。
<b>【広報研修(オンライン)】</b> 日時: 1月27日(金)午後	<b>【区市町村ネットワークアンケート】</b> 令和4年8月実施	<b>【取組み方のヒント集】</b> 令和5年度発行に向けて検討中
<b>【ホームページ・SNS】</b> 2/3現在 ・ホームページ事例掲載数: 299件(法人103件、ネットワーク196件) ・インスタ(フォロワー100人)、Twitter(同64人)、Facebook(同60人)	<b>【地域共生社会づくりに向けた「三者連携(東京モデル)の推進】</b> 内容: 社会福祉法人、社協、民生児童委員の3者間で連携した取組み。 令和4年度は事例集作成予定。	<b>【新たな取組み】</b> 「新たな事業開発のためのモデル事業」を公募したが申込がなかった。来年度に向けて実施時期や内容を再検討する。
<b>【推進協NEWS】</b> 5/11 7/29	<b>【パンフレット作成】</b> 全加入後新規会員に配布(5月)	
<b>【事例集】</b> 令和5年上半年発行 R3・R4実践発表事例から掲載予定	<b>【動画】</b> 動画作成(下半期予定)	
<b>運営委員会: 第1回 6月14日 第2回 2月6日</b> <b>幹事会: 第1回 5月16日 第2回 10月21日 第3回 1月24日</b>		

## ➤令和4年度実践発表会 会長賞等決定!

本年度の実践発表会は、発表法人を募集する形式で実施しました。7法人と2つのネットワークよりご応募いただき、発表内容を収録し配信いたしました。いずれの事例も、コロナ禍の影響を受ける中、様々な工夫を凝らし、地域のニーズにこたえる実践をされていました。また2月7日に表彰式をオンライン開催し、推進協会会長賞は世田谷区社会福祉法人地域公益活動協議会に、幹事長賞は大三島育徳会及び聖愛学舎に決定、表彰しました。発表いただいた事例は、今後、推進協HPに掲載します。また、会長賞・幹事長賞の動画は、会員ページ内にて配信中です。

法人名・事業所名/ネットワーク名	発表タイトル
1 社会福祉法人 大三島育徳会	住宅確保要配慮者支援法人としての取組み
2 社会福祉法人 恩賜財団東京部同胎援護会 いこいの家	インケアとアフターケアの連動による一体的なソーシャルワークの実践～こども学習室の実践例から
3 社会福祉法人 聖愛学舎 リアン・ハートハウス (もみの木保育園若葉台内)	リアン・ハートハウスの1週間
4 社会福祉法人 聖ヨハネ会 校町高齢者在宅サービスセンター	長期間外出が出来ていない高齢者の保潔と介護保険サービスに繋げる活動(フィッティングサポート事例)
5 社会福祉法人 タビデ会 昭島ナオミ保育園	地域の子ども達に食を営む力を!
6 社会福祉法人 東京光の家 光の家就労ホーム	SDGs 活動の地域貢献～「旭が丘中央公園地区センター」の運営を通じて～
7 社会福祉法人 福音会 町田愛園	子ども食堂の誕生～成熟～感染禍 5年間の展開
① 世田谷区社会福祉法人地域公益活動協議会 (せたがや公益協)	せたがや公益協での食を介した相談支援の拡充に向けた取組み～社会福祉法人の強みを活かした相談支援型フードパントリー設置へ～
② 立川市社会福祉法人地域貢献活動推進ネットワーク (ふくしネットたちかわ)	社会福祉法人が取り組む参加支援

← 発表法人等一覧

↓ 表彰式の様子



## ➤地域公益活動の状況等調査から

### ＜1＞地域公益活動の状況等調査概要（速報）

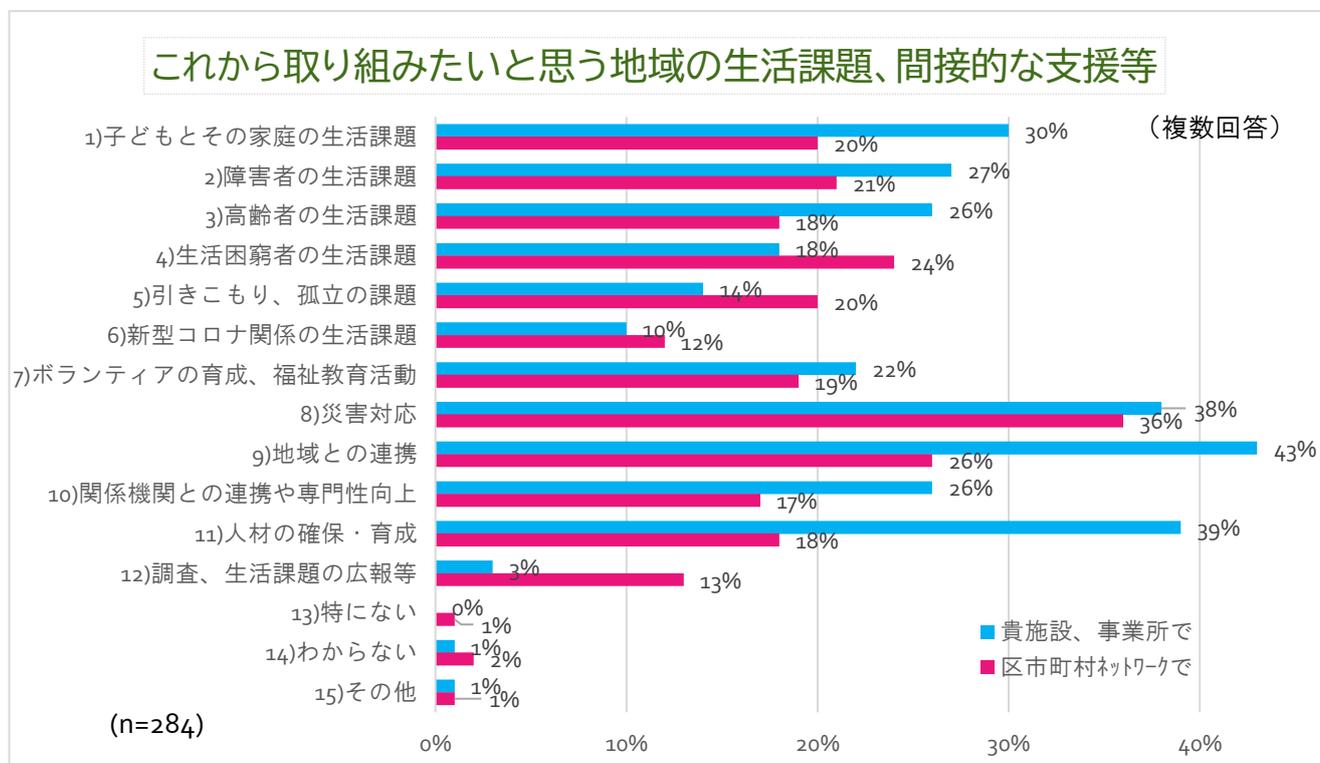
これから取り組みたいこと～ 施設・事業所単位は「地域との連携」、ネットワーク単位では「災害対応」

コロナ禍が継続する中、地域では生活困窮や社会的孤立により厳しい状況におかれている人が増える一方、社会福祉法人においても利用者や職員の感染、光熱水費の高騰等により難しい経営状況が続いています。令和2～3年度の状況把握調査に引き続き、オール東京での推進体制が整備されたことを踏まえ、すべての会員法人 1,037 法人の 2,981 施設を対象に地域公益活動の実施状況等について調査を実施しました。年末の多忙な中ご協力をいただき、ありがとうございました。

◆調査期間 令和4年12月9日～令和5年1月10日

◆回答率 454 施設（15%）／法人数 265 法人（26%）

施設・事業所で「地域公益活動を実施している」のは回答のあった施設・事業所の65%で、今後の活動の方向性について「現状で継続」68%、「拡大」22%となっています。また、施設・事業所では実施していないが「法人内で実施している」と回答があったのは34%でした。



これから取り組みたいと思う地域の生活課題、間接的な支援等では、施設・事業所の回答では、「地域との連携」43%、「人材の確保・育成」39%、「災害対応」38%となっています。

同じ設問で区市町村ネットワークで取り組みたいと思う課題は、「災害対応」36%、「地域との連携」26%、「生活困窮者の生活課題」24%となりました。

また、推進協の活動への期待では、「会員への情報提供」52%、「都民・関係者への広報活動」43%、「情報交換の場・機会」43%となっています。

推進協の今後の活動が、法人及び施設・事業所の地域公益活動の推進に資するよう、また皆様のご期待にそえるものとなっていくよう、引き続き取り組んでまいります。

【注】本調査は、都内における施設・事業所等の拠点（同一敷地に複数施設等で取組む場合は1回答）ごとの取組みについて集計しています。

（参考）都内社会福祉法人のうち、地域における公益的な取組の実施報告があった法人は99%でした。

[地域における公益的な取組の実施報告状況（令和3年4月1日時点）](#)（東京都福祉保健局ホームページより）

## <2>区市町村における社会福祉法人のネットワークと地域公益活動

コロナ禍において地域課題が顕在化する中、区市町村における社会福祉法人ネットワークとして、新たな活動の取組やコロナ禍での活動の工夫など伺いました。

- ◆調査実施 令和4年7月26日～8月23日
- ◆対象/回答率 区市町村ネットワークの事務局を担う区市町村社協（島しょ部を除く）  
53/53社協（100.0%）。

区市町村ネットワークは、準備中6か所を含め、51区市町村でネットワークの取組が進められています。

区市町村によっては、同じ区市町村でも地域が広く、地域性が異なることなどから、エリア・地区別の活動に取り組んでいるネットワークも7か所あります。また、ネットワークの活動を進めるために、部会・分科会を設置し取り組んでいるのは9か所でした。

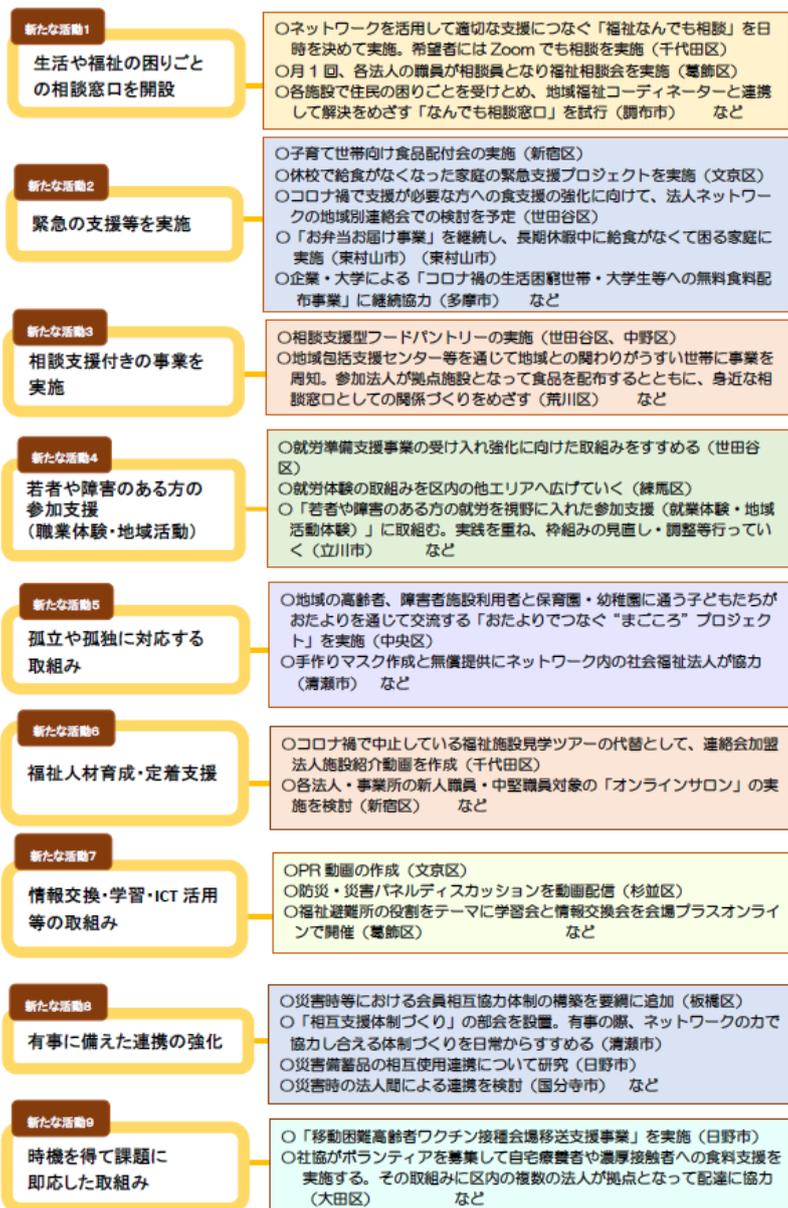
コロナ前からネットワークとしての活動を展開していた35地区では、約8割が「活動継続」「活動再開」「形を変えて」取り組んでいる状況がうかがえました。

コロナ前からの活動については、「感染対策をしながら継続実施」「ICTを活用した事業実施」「実施方法を工夫して代替」するなど、工夫を凝らしていました。

コロナ禍の地域課題に対応し、新たに始めた活動（予定を含む）は右記の通りです。

\*詳細は、東社協ホームページにも掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/chosa/index.html>



## 2. 令和5年度事業計画がまとまりました

令和5年度事業計画・予算案について、幹事会での検討を経て、2月6日開催の運営委員会で承認されました。全加入組織となり、新3か年計画の二年次となる令和5年度は、昨年度に引き続き、オール東京を念頭におき、以下の取組みを推進していきます。

なお、事業実施にあたっては、会員増をふまえた活動となることから、オンライン開催等を中心に進めていきます。

## 1 活動・事業の推進

(1) 3つの層の地域公益活動の広報・PR 2,870千円(R4当初予算) ⇒ 3,530千円

- ① 社会福祉法人・区市町村ネットワーク（複数法人含む）の取組みの把握・PR
  - \* 実践事例の見せる化（事例を動画や漫画に加工、ホームページやSNSを活用した発信等）
  - \* 実践発表会の開催
  - \* 実践事例集の発行
- ② オール東京での取組みを広くアピールするためのブランディングの検討
  - \* 推進協マスコットキャラクター運用方法検討・使用開始
- ③ 会員を対象とした取組みの共有・推進
  - \* メールNEWSの発行
  - \* 広報・情報発信等の研修会の開催

(2) 区市町村ネットワークによる地域公益活動の推進 8,310千円(R4当初予算) ⇒ 8,340千円

- ① 区市町村 ネットワーク助成事業の実施
  - 〔事務費〕 1地区 5万円（上限） × 51地区（計 2,550千円）  
※参考：R4は27地区 計 1,252千円申請・決定
  - 〔事業費〕 1地区30万円（上限） （計 5,400千円）  
※参考：R4は22地区 計 4,869千円申請・決定
- ② 区市町村ネットワーク（複数法人含む）の取組みの把握・PR（再掲）
- ③ 区市町村ネットワークに関するアンケートの実施
- ④ 区市町村ネットワーク代表者連絡会の開催、ネットワーク事務局への働きかけ
- ⑤ 区市町村ネットワーク助成事業（事務費・事業費）の配分方法の検討・提案

(3) 新たな地域公益活動の開発と推進 908千円(R4当初予算) 1,373千円

- ① はたらくサポートとうきょう（中間的就労推進事業）の推進
  - ア「はたらくサポートとうきょう」実践報告事例の活用・取組みの促進
  - イ「はたらく場情報」の登録及び相談支援機関への提供（奇数月に提供、生活困窮者自立支援相談窓口及び福祉事務所）
  - ウ相談支援機関への情報提供の強化
- ② 取組み方のヒント集の発行
- ③ テーマ別情報交換会等の実施
  - \* ①住まいの支援、②ひきこもり支援、③災害時の支援等、いま社会福祉法人が取り組むべき課題をテーマに取り上げる。
- ④ 新たな事業開発のためのモデル事業の助成、地域課題等に応じたプログラムの検討

(4) その他、地域公益活動の推進に必要な取組み 1,686千円(R4当初予算) ⇒ 480千円

- ① 会員管理
- ② 会員への情報提供（オンライン研修・会議に伴う通信費等）

## 2 組織運営

357千円(R4当初予算) ⇒ 357千円

- (1) 運営委員会の開催（3回）
- (2) 幹事会の開催（3回）
- (3) 専門委員会

- ①情報発信委員会（3回程度）
- ②地域ネットワーク推進委員会（3回程度）
- ③事業開発委員会（3回程度）

### 3 事務局運営

7,553 千円（R4 当初予算）⇒7,552 千円

- (1)人件費（嘱託1名、正規0.3人分）
- (2)共通事務費

## 3. 推進協 HP について

### ➤ 推進協ホームページの について

会員ページは、会員に限定し、研修会等の動画配信などを行っています。  
 ホームページのトップ画面上段の「会員ページ」をクリックしてください。  
 ID・パスワードは以下の通りです。会員法人・事業所の皆さま、ぜひご活用ください。

**ID : koueki ⇒ パスワード:koueki**

【寄稿のお願い】 推進協では、「地域公益活動」の実践事例を募集しています！  
 詳しくは会員ページにご案内しています。積極的に事例提出をよろしくお願いいたします。

### ➤ 推進協ホームページのリンクバナーをご活用ください

地域公益活動の取り組みをより広く周知・発信することを目的に、推進協ホームページでは、各社会福祉法人・地域のネットワーク等の事例や動画を掲載しております。

会員法人の皆様には、下記のリンクバナーを配布しています。地域公益活動の発信ツールの一つとして、ぜひ貴法人・事業所のホームページにも掲載いただくなどご活用ください。

直接ダウンロードしていただき、お使いください。

- ◆東京都地域公益活動推進協議会会員法人PRバナー  
 静止画とアニメーションの2種ございます。使用しやすい



いものを選択・ダウンロードしていただき、貴法人のホームページに貼り付けてください。

▽東京都地域公益活動推進協議会サイトのリンクバナーについて

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/koueki/gaiyo/2022-0325-1136-42.html>

#### 【問合せ先】

東京都地域公益活動推進協議会 事務局  
 社会福祉法人東京都社会福祉協議会 福祉部 経営支援担当  
 TEL 03-3268-7192 FAX 03-3268-0635  
 E-mail tky-koueki@tcsw.tvac.or.jp

<https://www.tcsw.tvac.or.jp/koueki/index.html>

